

<報道発表資料>

令和8年5月15日

京都市保健福祉局こころの健康増進センター相談援助課

令和8年度「依存症市民講座」の開催

近年、処方薬や市販薬に関する問題が増え、若者のオーバードーズ（過量服薬）が社会課題となっています。その背景には、誰にも言えない悩みや、生きづらさがあるといわれています。オーバードーズは、特別な人だけの問題ではありません。身近な人の中にも、そして自分自身にも起こりうることです。

本講座では、日本の精神・神経分野におけるトップクラスの研究機関である国立精神・神経研究センターの第一線で活躍する研究者と、かつて当事者でもあり現在は回復支援施設で支援に携わる職員を講師として招き、薬物問題の現状やオーバードーズに関する正しい知識と理解を深めます。

専門的な知見と実体験の双方から学びながら、今私たちにできることを一緒に考えます。自分のために、大切な人のために、まずは「知ること」から始めてみませんか。

● 日時 令和8年7月2日(木) 午後2時30分～午後5時（開場：午後2時）

● 場所 京都労働者総合会館 ラボール京都 2階 ホール
（〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30-2）

● 対象 京都市内に在住・在勤・在学の方

● 内容（1）講演「オーバードーズに隠されたメッセージ

～実態を理解し、できることを考える～

講師 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

薬物依存研究部 心理社会研究室長

嶋根 卓也 氏

内容（2）当事者体験談・回復施設紹介（非営利活動法人 京都 DARC 職員）

● 定員 150名（先着順）

● 参加費 無料

● 申込 当日直接会場までお越しください（申込不要）。

*手話通訳が必要な方は、6月18日（木）までに以下お問合せ先までお申し出ください。

<お問合せ先>

京都市保健福祉局こころの健康増進センター相談援助課

電話：075-314-0355